

教材分析シート

(3)年(花)組 授業者(田口 沙弓)

教材名

心と心のあく手 (わたしたちの道徳)

内容項目

親切・思いやり B (6)

ねらい

おばあさんの後をそっとうついていった「ぼく」の気持ちを通して、相手のことを思いやり、親切にしようとする道徳的心情を育てる。

① 主人公

(道徳的に最も大きく変容した人物)

ぼく

② 助言者

(主人公の変化に重要なヒントを与える人・モノ)

おばあさん

③ 場面分け (主人公を主語にして分ける)

Before (道徳的な変化前)	おばあさんに「荷物、持ちます。」と声を掛けたが断られる。
助言者の登場	数日後、一生懸命歩いているおばあさんに再び出会う。
転 (道徳的变化) After (変化後)	そっとおばあさんの後ろをついて歩き、坂道を登り終わった笑顔のおばあさんを見て「心と心のあく手」をしたような気がした。

④ 一文読み (要約)

足の不自由なおばあさんの後ろをついて歩き、坂道を登り切った笑顔のおばあさんを見て「心と心のあく手」をしたような気がしたことから、「本当の親切」について考える話。

⑤ 発問 (3種類の質問)

Before の発問 (道徳的問題を明らかにする)	→内容理解の発問「主人公の道徳的問題は何か？」 荷物を持ったおばあさんの苦しそうな様子を見たとき、ぼくはどんなことを考えたでしょう。
「転」又は After の発問 (主人公の気づきに迫る)	→中心発問「主人公は何に気づいたのか？」 ぼくは、どんな気持ちから、おばあさんの後ろをそっとうついていったのでしょうか。
補助発問 (あれば)	おばあさんの嬉しそうな顔を見て、どんな気持ちになりましたか。
価値追求の発問 (道徳的価値をおさえる) (テーマにかかわる発問)	→おさえの発問(「〇〇って何だろう?」、手紙、ふり返り等) 「親切」とは、どのようなことでしょうか。

